

我が家の庭で観察した アゲハチョウ類の食餌植物 矢田 敦子

我が家の庭で観察したアゲハ、キアゲハの食餌植物を報告する。

アゲハ

カボス……毎年卵をたくさん産みつけ幼虫が成長している。

キンカン……カボスほどは好まないようだが、毎年細々と卵を産みつけている。幼虫も成長しているキアゲハ

マツバゼリ……雑草の中に生えているので幼虫が大きくなるまで見つけにくい。2000年9月25日に5令幼虫を5頭見つけた。本年も8月28日に幼虫を観察している(写真1,2)。

バセリ……キアゲハの食草としてはポピュラーであるが、毎年たくさんの卵が産みつけられ、幼虫も育っている。今年は猛暑でバセリが枯れて食糧事情が悪かったが、たくさん育った。しかし、蛹の殻は通常より薄かったように思う。

(YADA ATSUKO 加古川市平岡町新在家2159-16)

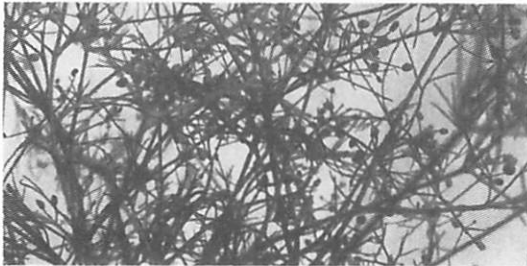


写真1 マツバゼリ



写真2 マツバゼリで育つキアゲハ
2001年8月28日(16:36)

但馬におけるヒョウモン類の産卵の記録 近藤 伸一

ヒョウモン類3種の産卵を観察したので報告する。日本の大型ヒョウモン類は、一般に秋に産卵し、翌春孵化した幼虫がスマレ類を食べて成長する。各ヒョウモン類は種ごとに幼虫の食べるスマレ類に嗜好の差がみられるが、自然状態での生態は明らかでない。今年但馬で観察した3種のヒョウモン類の産卵行動と、その状況について報告する。なお、9月23日の観察には森口 紀氏に同行していただいた。

1 ウラギンヒョウモン

①2001年9月22日 13時19分～22分 晴れ

日高町名色の但馬ドームの林縁に位置する草地で、ウラギンヒョウモンが腹部を立てて、腹端を枯れ草にこするように歩きまわり、止まっては産卵し、また歩くというようにして数回産卵した。この草地にスマレ類は見られなかった。

②2001年9月23日 13時30分頃 晴れ

八鹿町加瀬尾の田に隣接した刈り込まれた草地で、2♀が産卵を行った。産卵の行動は前記と同じであった。この草地にはニョイスミレとタチツボスミレが見られた。

③2001年10月28日 12時23分～26分 晴れ

八鹿町加瀬尾の栗園と畑の間にある畦畔の草地で産卵行動を確認した。産卵の行動は同じで、この草地に生えていたのはニョイスミレであった。本種は秋も深まったこの時期まで産卵をするようで、同じ場所で元気な別個体の♀を確認している。

2 オオウラギンスジヒョウモン

①2001年9月16日 13時30分ごろ 曇り

八鹿町加瀬尾の栗園の草地で産卵しているのを確認した。産卵の行動は前記ウラギンヒョウモンと同じで、草原に下りると腹を折り曲げ、地表面と垂直になるような体制で歩き、とまっては産卵行動、また歩く、とまる産卵行動という行動を繰り返した。産卵場所はニョイスミレの群生している場所であった。

②2001年9月23日 13時40分頃 晴れ

八鹿町加瀬尾で、産卵行動を観察した。場所は前記1-②ウラギンヒョウモンが産卵を行った場所から3mほど離れた同じ草地で、草地に生えていたのはニョイスミレとタチツボスミレであった。

なお本種は10月6日、17日には同じ場所で多数の個体が見られたが、産卵行動は見られず、10月28日には全く姿が見られなかった。

3 ミドリヒョウモン

①2001年9月23日 14時40分頃 晴れ

八鹿町妙見の人家跡の草地で、カーテンのようにたらしめた黒い寒冷紗(かんれいしゃ)にとまり、すぐに寒冷紗の繊維に産み付け、飛び去った。この寒冷紗は高さが約2mで、産卵位置は、地面から約1.5mであった。またこの草地にはタチツボスミレとニョイスミレが生えていた。

(KONDO SHINICHI

神戸市西区岩岡町岩岡619-57)

 北淡町でイネクロカメムシを採集
 高島 昭

北淡町育波の水田でイネクロカメムシ *Scotimophora lurida* (Bermeister) を採集したので報告する。本種は南方系のカメムシで、本州南部以南に分布するがどのあたりまで土着しているかは定かでない。イネの葉や莖及び乳熟期には実(コメ)をも食害する重要害虫で、ときどき本州各地でも大発生しているらしい。兵庫県ではこれまであまり記録がないと思われるので報告する。

北淡町育波 27.VI.2001 3♀ 高島 昭

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)

 安富町でオキナワルリチラシ
 高島 昭

2001年9月22日、宍粟郡安富町名坂の兵庫県原種農場の予察灯にオキナワルリチラシ *Eterusia aedeae* (Clerck) が入っているのを、兵庫県病害虫防除所の藤宮正昭主任研究員が発見した。本種はこれまで兵庫県から記録されておらずこれが初記録となる。

安富町名坂 22.IX.2001 1♂ 藤宮正昭

破損はしていないものやや飛び古した個体であった。本種は伊豆半島以西の太平洋岸以南に分布しているが、近年広島県、山口県、島根県等の本州西部からも記録されており、分布を拡大しつつあるようである。いくつかの亜種に分けられているが、この個体は小型で前翅斑紋の特徴から本州～九州、対馬等に分布する日本本土亜種 *E. aedeae sugitanii* Matsumura であると思われる。本年8,9月には台風が

近畿地方に相次いで接近しており、強い西風に乗って分布地域から運ばれたものと思われるが、安富町のある宍粟郡南部の里山ではヒサカキやツバキ類が多くもともと分布していた可能性も考えられ興味深い。なお、標本は筆者が保管している。標本の提供及び記録の発表について快諾いただいた藤宮正昭氏に感謝申し上げる。

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)

 淡路景観園芸学校(北淡町)で
 マイコトラガ
 高島 昭

北淡町にある兵庫県立淡路景観園芸学校で同校職員の森田年則氏によりマイコトラガ *Maikona jezoensis* Matsumura が採集されている。たまたま筆者が仕事で訪問した際に三角紙標本を確認した。

北淡町野島常盤(兵庫県立淡路景観園芸学校)

11.IV.2001 1♂1♀ ; 14.IV.2001 2♂1♀

採集者：森田年則

いずれの個体も水銀灯に飛来して建物の壁等に静止したものが翌朝採集されたものである。

学校周辺は開発が進んでおり、畑や牧草地等が多いが暖帯林もところどころ残されている。淡路島では本種の記録は多いが、このようなオープンランドに近い環境で多く見られることは特筆される。同地は淡路島北部の丘陵地帯のほぼ頂上部に位置し、風で吹き上げられた個体が集まった可能性もある。

なお、標本は筆者が保管している。最後になったが、貴重な標本を提供いただき、発表を快諾された森田氏にはお礼を申し上げる。

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)